



中小企業静岡

■特集

『中小企業白書』にみる
中小企業 飛躍のカギ!
「イノベーション」・「販路開拓」・「人材」

■Business Report

暑さを吹き飛ばす地元の風物詩
第22回 浮島工業団地「納涼祭」を開催 ほかに

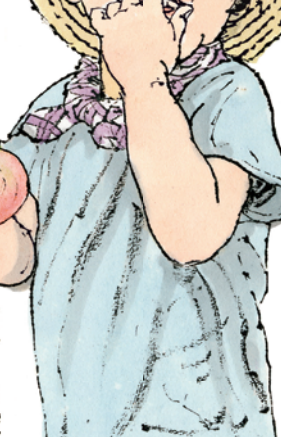
■Topics

『一般社団法人 静岡県産業連携研究所』設立

SEPTEMBER **9** No.742



市・沼津市などで栽培されている高糖度トマト「アメーラ」は、静岡県農林技術研究所の研究成果によって、平成26年に開発された。従来のトマトと比べて、糖度が約20%高いことが特徴。また、果肉が柔らかく、味が濃厚で、食べると甘く感じる。現在は、静岡県内の各産地で栽培されており、店頭でも見かけるようになった。この高糖度トマトは、健康志向の高まりや、子供向けの野菜として注目を集めている。静岡県では、この高糖度トマトの生産を推進し、産地を拡大することで、農家の収入向上を図っている。



●果物のようなスイーツ感
「アメーラ」は静岡県農林技術研究所の研究成果によって、平成26年に開発された。従来のトマトと比べて、糖度が約20%高いことが特徴。また、果肉が柔らかく、味が濃厚で、食べると甘く感じる。現在は、静岡県内の各産地で栽培されており、店頭でも見かけるようになった。この高糖度トマトは、健康志向の高まりや、子供向けの野菜として注目を集めている。静岡県では、この高糖度トマトの生産を推進し、産地を拡大することで、農家の収入向上を図っている。

○しずおか食セクション(9)

高糖度トマト「アメーラ」





検定試験を受けて 組合士になろう!!

平成27年度 中小企業組合検定試験 **12月6日(日)**

受験資格

特になし(ただし、組合士として認定されるには組合等での実務経験が必要です。)

試験科目

組合会計 組合制度 組合運営

試験日

平成27年12月6日(日)

試験地

札幌、青森、仙台、秋田、郡山、さいたま、東京、長野、静岡、名古屋、大阪、松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、長崎、大分、宮崎、那覇

願書受付期間

平成27年9月1日(火)~10月15日(木)

受験料

5,000円(一部科目免除者は3,000円)

その他

お申し込み方法など詳しいことは、最寄りの都道府県中小企業団体中央会にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

都道府県中小企業団体中央会 <http://www.chuokai.or.jp/link/link-01.htm>
全国中小企業団体中央会 <http://www.chuokai.or.jp>
TEL.03-3523-4907

●インターネットでもご覧いただけます

中央会静岡

検索

↓
トップページ中央右の
「今月の中小企業静岡」をクリック!http://www.siz-sba.biz/library_index.htm

目次

INDEX

- | | | |
|-------------------|---|----|
| ● 特集 | 『中小企業白書』にみる
中小企業 飛躍のカギ!
「イノベーション」・「販路開拓」・「人材」 | 2 |
| ● Business Report | 暑さを吹き飛ばす地元の風物詩
第22回 浮島工業団地「納涼祭」を開催
ほか | 8 |
| ● 景況ウォッチ | 7月の情報連絡員月次景況調査より | 10 |
| ● ネットワーク | 平成27年度
静岡県障害者雇用促進大会来場者集!
ほか | 13 |
| ● Topics | 『一般社団法人静岡県産業連携研究所』
設立 | 15 |
| ● 読者プラザ | 静岡県中小企業団体中央会
経営支援課 古郡 紗貴子 | 16 |



『中小企業白書』にみる 中小企業 飛躍のカギ！ 「イノベーション」・「販路開拓」・「人材」

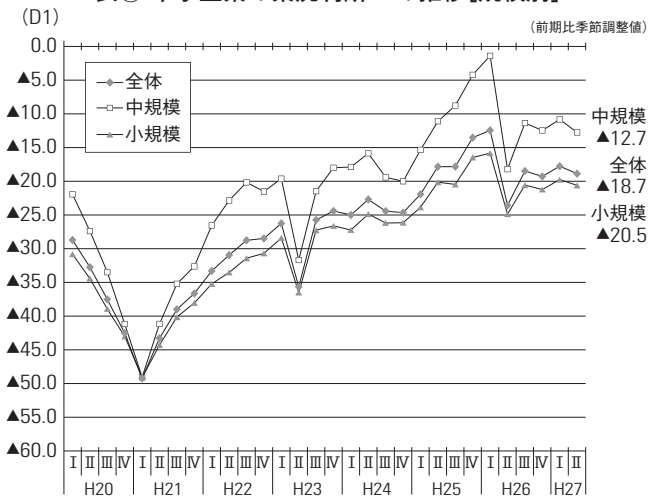
中小企業庁は、毎年、中小企業の各種の動向を調査、分析した「中小企業白書」をまとめている。52回目となる今回は、中小企業の飛躍のカギとして「イノベーション」、「販路開拓」、「人材」をあげ、中小企業の抱える課題の解決策を提言するとともに取組事例を紹介している。

この3つのカギは、静岡県中央会でも中小企業並びに組合支援のキーワードとして各種事業を推進しており、さらに力を入れていく考えである。

今回の特集では調査結果の中から3つのカギについてポイントを紹介する。

(資料提供：中小企業庁)

表① 中小企業の業況判断DIの推移[規模別]



中小企業の景況感からもこうした状況が確認できる。(表①) 平成二六年秋以降は、原

景況感は持ち直しの動き

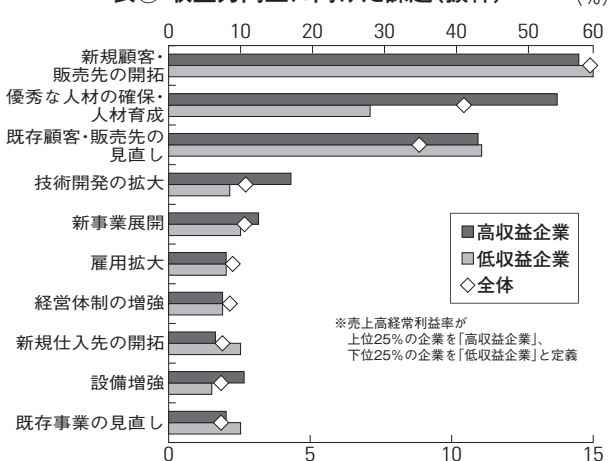
中小企業の動向

平成二五年以降、消費者物価が緩やかに上昇し、企業の設備投資や有効求人倍率の改善が見られ、企業活動は幾分活発になった。しかし、平成二六年四月の消費税引上げに伴う駆け込み需要とその反動減の影響もあり、個人消費が伸び悩んだ。その後、公共投資が景気を下支えし、円安などにより生産や輸出が持ち直し、企業収益にも改善の動きがみられている。

高収益のカギは「人材確保・育成」と「技術開発」

白書では、企業間の収益力の格差が拡大していると指摘。また、収益力の向上に向けた課題について、「新規顧客・販売先の開拓」に強い意識を持つ一方、高収益企業は低収益企業に比べ「優秀な人材確保、人材育成」、「技術開発の拡大」を強く意識していると分析している。(表②)

表② 収益力向上に向けた課題(抜粋) (%)



資料：中小企業庁委託「大企業と中小企業の構造的な競争力に関する調査」(2014年9月、株式会社データバンク)

中小企業 飛躍のカギ

中小企業を取り巻く環境は、グローバル化や人口減少などの社会的構造変化の中で、ますます厳しいものとなっている。

こうした中、中小企業も自ら市場に向き合い、イノベーション（経営の革新）や販路開拓に真剣に取り組み必要性が高まっている。また、社内における協働やコミュニケーションの活性化が重要であり、人材の育成も中小企業の飛躍にとって大きなポイントであると指摘している。

飛躍のカギ

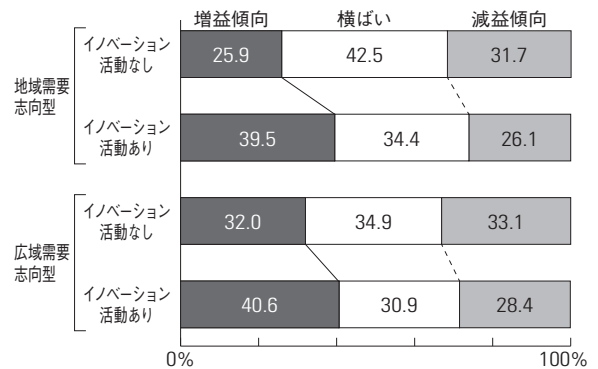
①「イノベーション」

イノベーションとは、いわゆる経営の革新であり成長の源泉である。イノベーションに関する取り組みは、比較的規模が大きく、広い商圏で事業を行う者が積極的に行っている傾向にある。

広域需要志向型企業（※）ほど、市場での差別化をはかるための研究開発、社外との協働が増えるような取組等、社外を意識した取組を活発に行っている。

一方、地域需要志向型（※）であっても、イノベーション活動に積極的な企業は、取り組んでいない企業に比べて利益を伸ばしている傾向にある。（表③）地域需要を志向する企業も、イノベーション活動に取り組み、生産性を向上させ、収益力を高めることに積極的に取り組んでいくべきだと考えられる。

表③ 需要志向別、イノベーション活動状況別に見た経常利益の傾向



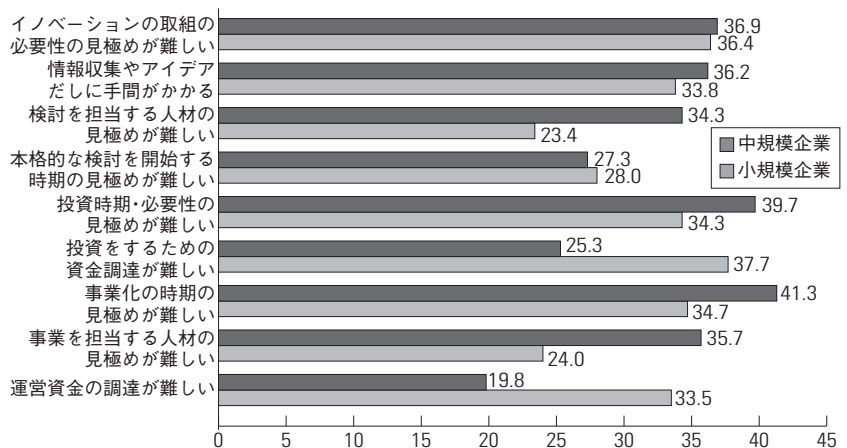
資料：中小企業庁委託「市場開拓」と「新たな取り組み」に関する調査（2014年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）
 （注）直近3年間の経常利益の傾向に関して、「大幅な増益傾向」、「若干の増益傾向」と回答した企業を「増益傾向」とし、「大幅な減益傾向」、「若干の減益傾向」と回答した企業を「減益傾向」としている。

課題は「取組の必要性」と「事業化時期」との見極め

※今後力を入れたい市場を「同一市町村・都道府県」とする企業を「地域需要志向型」とし、「全国・海外」とする企業を「広域需要志向型」とする。

イノベーションに取り組む際の課題は、「取組の必要性の見極めが難しい」、「事業化の時期の見極めが難しい」など、必要性やタイミングの見極めを課題としているものが多いが、規模別にみると、中規模企業（※）は「人材」に対する課題、小規模企業（※）は「資金」に関する課題を上げるものが多い。（表④）
 ※「小規模企業」とは従業員が製造業で20人以下、卸・サービス・小売業で五人以下の企業。「中規模企業」は中小企業のうち「小規模企業」以外の事業者

表④ イノベーションのプロセス別に見た課題（抜粋）



資料：中小企業庁委託「市場開拓」と「新たな取り組み」に関する調査（2014年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）
 （注）複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

取組事例 「京都試作ネットワーク」

イノベーションの課題克服のためには、企業間の「連携」が重要。また、企業連携を成功させるには、中核となる機能の存在が必要である。単なる水平の連携ではなく、中核となる企業や事務局があることで、全体を調整する役割を果たし、川下企業からの受注を獲得しやすい状況が生まれていると考えられる。

中小企業は様々な経営課題を抱える中で、特に販路開拓に対する意識が強い。しかし販路を開拓し、目標とした売上を達成することは容易ではない。

② 「販路開拓」

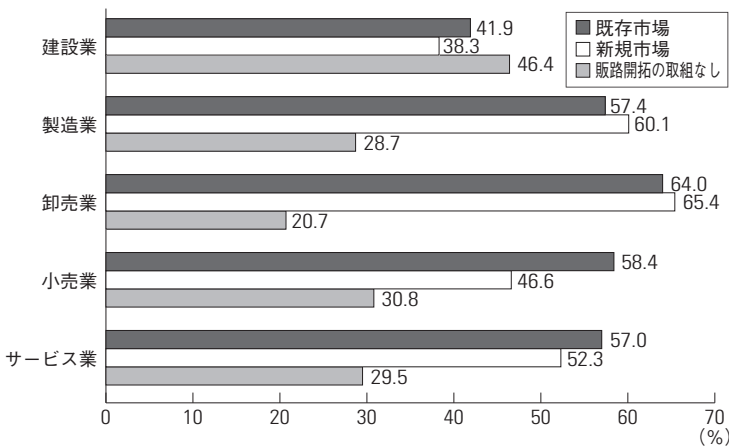
飛躍のカギ

「京都試作ネットワーク」(京都府)は、中小企業のネットワークを形成し、需要の獲得に成功した連携体。京都府南部の機械金属関連の中小企業で構成され、部品加工から装置開発まで「試作に特化したソリューション提供」を行っている。切削や表面加工等の高度な技術を持った企業がネットワークを形成することで、単独企業では不可能な複数工程を実現し、難度の高い試作の依頼も引き受けている。こうした部品加工から装置開発まで一貫した体制整備を行ったことで、現在では、全国から問い合わせが来ている。「コスト」ではなく、開発段階で最も重要視される「スピード」を最優先としており、ホームページを通じて顧客から依頼が行われる仕組みを構築し、2時間以内に見積もりを返し、顧客の製品開発率を効率化している。

<http://www.kyoto-shisaku.com/>



表⑤ 業種別・市場別に見た販路開拓の取組状況

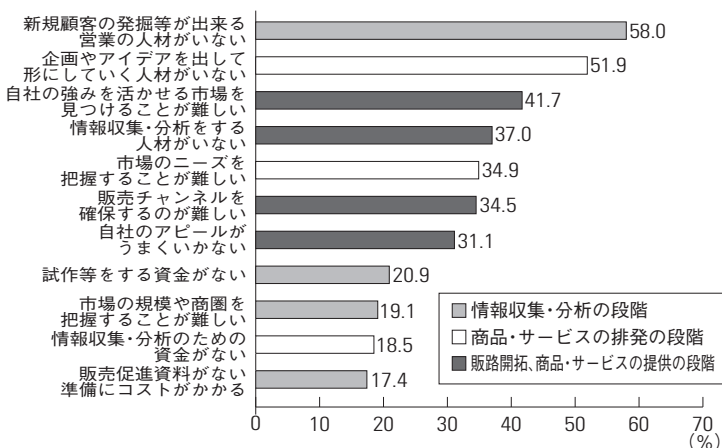


資料:中小企業庁委託「市場開拓」[「新たな取り組み」に関する調査]
(2014年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
(注)複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

販路開拓には、開拓する市場の把握が重要である。調査によると「新規市場」は、「既存市場」に比べて総じて売上目標の達成状況が低く、中小企業における新規市場開拓の難しさをうかがわせる。一方、市場のニーズ、商圏、市場規模を把握している企業は、把握していない企業と比較して目標の売上達成度合いが高いという結果であった。

また、業種別みると製造業と卸売業は、新規市場の販路開拓に取り組んでいる企業の割合が他業種に比べて高いが、「販路開拓の取組なし」という回答も二割から四割超存在した。(表⑤)

表⑥ 新規市場開拓の売上目標未達成企業が抱える課題(抜粋)



資料:中小企業庁委託「市場開拓」[「新たな取り組み」に関する調査]
(2014年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
(注)複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

課題は「営業人材の不足」と「マーケティング」

売上目標を達成することができなかった企業が抱える、新規市場開拓時の課題を見ると、「人材」に関する課題が最も多く、次いで、情報収集・分析等の「マーケティング」に関する課題が多くなっている。(表⑥)

人材が不足している企業の過半数で、外部人材の獲得が「実現できていない」とし、その理由としては「コストに見合う効果が期待できない」とする回答が多かった。

取組事例 「小野金物卸商業協同組合」

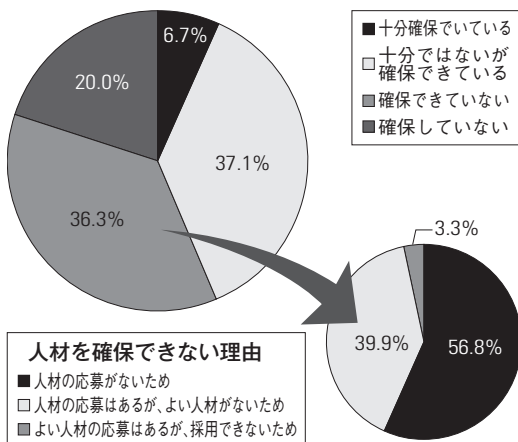
これからは、「よいもの」をつくるという発想から「売れるもの」をつくるという発想への転換が必要である。市場のニーズを取り入れたり、デザインを活用したりするなど、ブランドを構築することで、新たな販路開拓の可能性が広がる。また、国内市場のみならず、成長する海外市場を取り込んでいくことも地域の中小企業にとっては重要である。販路開拓にあたっては、海外での展示会に出展していくほか、直接、海外の消費者にインターネット販売を行う方法もある。

兵庫県小野市は、刃物製造が盛んな地域であるが、刃物の出荷額が50年間で半分に落ち込んだ。この状況に危機感を感じた「小野金物卸商業協同組合」の若手メンバーは、地場のデザイナーと連携し、「播州刃物」というブランドを立ち上げた。デザイナー自身がPR資料などを作成し、積極的に「播州刃物」を宣伝し、海外への販路開拓を成功させている。

<http://kanamono.onocci.or.jp/>



表⑦ 中小企業・小規模事業者の人材の確保状況



資料：中小企業庁委託「中小企業・小規模事業者の人材と育成に関する調査」(2014年12月、株野村総合研究所)

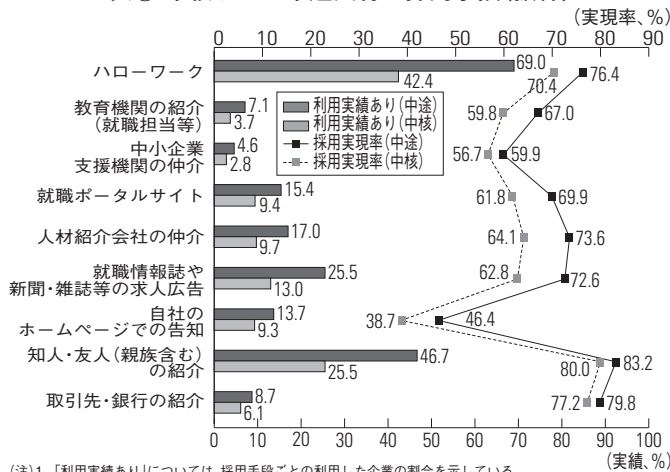
飛躍の力ギ

③ 「人材の確保・育成」

中小企業にとって人材は、何物にも代えがたい貴重な経営資源である。しかし、雇用環境の改善が進む中で、中小企業は量的にも質的にも人材不足に直面している。今回の調査でも、全国的な人材不足感の高まりが明確となった。

人材の確保状況について、「十分できていない」や「十分ではないができていない」と回答した企業の割合は五割に満たない。(表⑦) 人材が「確保できていない」理由をみると、「人材の応募がないため」が六割弱を占める一方で、「人材の応募はあるが、よい人材がないため」という回答も四割存在し、質・量両面での「人材不足」を裏付ける結果となった。(表⑦)

表⑧ 中核および中途人材の採用手段(抜粋)



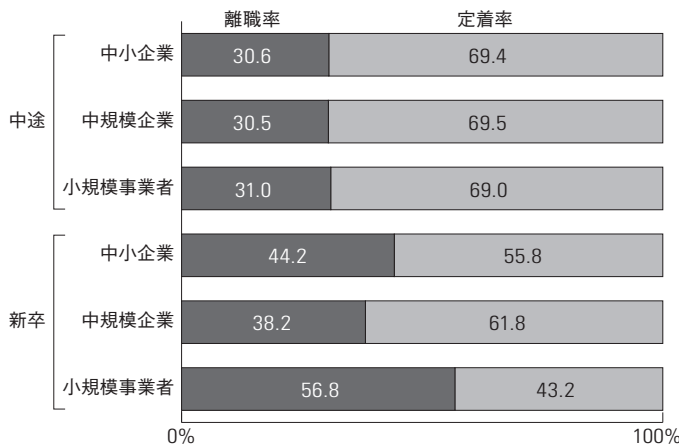
(注) 1. 「利用実績あり」については、採用手段ごとの利用した企業の割合を示している。
2. 採用実績率は、採用ごとに「採用実績がある企業数÷利用実績がある企業数」から算出した。

課題は「中核人材不足」と「定着・育成」

中小企業において、経営の中核となる人材の不足感が強い。前述の販路開拓(営業)のための人材にとどまらず、研究開発・製造、IT関連、経営等、多岐にわたる中核人材の不足感が強い。

中途人材の採用手段としては、「ハローワーク」や「友人・知人の紹介」が多く利用されている。採用実現率(採用実績/利用実績)を見ると、「友人・知人の紹介」や「取引先・銀行の紹介」で高くなっており、一方、「自社ホームページ」が最も低く、中小企業の人材

表⑨ 中小企業・小規模事業者における就業者の離職率(3年目)



資料：中小企業庁委託「中小企業・小規模事業者の人材と育成に関する調査」
(2014年12月、株野村総合研究所)

中小企業における就業者の離職率(3年目)は、中途採用においては約三割、新卒採用においては約四割となっている。(表⑨)特に、小規模事業者においては、新卒採用の過半数

採用における顔が見える採用手段の重要性が見て取れる。(表⑧)他方で、様々な採用手段により採用実現率を高めることで、中小企業の人材確保の方策を多様化していく事も必要だと考えられる。
中核人材の採用を見てみると、利用実績、採用実現率ともに中途採用と似た結果になった。中小企業の「中核人材」の採用手段や供給源は、極めて限られていることがわかる。

「川根柚子協同組合」(広島県)は、平成24年に設立され、農家など約60名で構成される。当組合は、川根地区で柚子約5千本を栽培し、毎年約30トンの柚子を収穫する。柚子の加工品など商品開発や販路開拓を積極的に行っているが、農家の高齢化が進み人手不足が深刻であった。そこで、「あきたかコンソ」を通じてNPO法人などから出向者を受け入れ人材不足を解消した。さらに、出向者のもつノウハウが刺激となり、他団体との交流や他地域をまたいだ事業者間の連携が生まれた。

<http://kawaneyuzu.com/index.html>

取組事例

「川根柚子協同組合」・「あきたかコンソ」

中小企業における人材の定着や育成に関しては、限られた経営資源の中で行う個社単位の取組には限界がある。こうした中、地域をあげた人材の定着・育成を行う取組事例を紹介する。

が三年以内に離職しており、会社の将来を担う人材の育成の前提として、採用した社員の定着率を高める必要がある。
経営の中核となる人材の育成の面でも、中小企業は様々な課題を抱えており、特に「指導・育成を行う能力がある人材の不足」が顕著となっている。

「あきたかコンソ」は広島県安芸高田市のNPO法人や自治体、商工団体、産業支援機関が連携して形成され、地域の人材を地域で定着・育成するためのコンソーシアム(組織)。情報交換会や交流会、合同研修会を通じて、企業間の交流を促進するとともに、若手の研修機会を提供し、地域内における仲間意識の醸成に取り組み、人材の定着や育成につなげている。また、「企業間ローテーション」に関する取組を行っている。この取組は、「人員の過不足を補完する」「将来の人材を育成する」といった目的で一定期間にわたり、企業間で人材を送り出したり、受け入れたりする仕組み。こうした一連の事業を通じて、「あきたかコンソ」が地域の人事部として、人材の定着・育成、企業の人材不足感の改善に取り組んでいる。

<http://www.c-prj.com/akitakata-conso/>

「中小企業白書」には、以上の資料や調査結果の詳細な解説の他、多数の事例が紹介されている。また、「平成二七年度において講じようとする中小企業施策」などが掲載されている。

さらに、今年から始まった小規模事業者に特化した「小規模企業白書」も公開されているので、ぜひ、中小企業庁のホームページからご参照いただきたい。

<http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/>

創立60周年記念式典



「感謝・挑戦・飛躍」

静岡県中小企業団体中央会は今年度、創立60周年を迎えました。

この歴史は、地域経済を支えてきた中小企業と組合の足跡であることは言うまでもありません。

ともに歩んだ歴史を振り返り、皆様からいただいたご支援ご協力に「感謝」と同時に、新たな時代に「挑戦」し、輝く未来への「飛躍」を誓うべく創立60周年記念式典を開催致します。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：平成27年11月17日(火) 14:00より(受付：13:00より)

会 場：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 中ホール「大地」
静岡市駿河区池田 79-4 TEL：054-203-5710 (代表)

次 第：14:00～ 開 会

来賓祝辞

記念表彰(全国中央会会長表彰、静岡県中央会会長表彰、社会貢献組合顕彰)

15:00～ 記念講演

講 師：舞の海 秀平氏(元力士・近畿大学経営学部 客員教授)

テーマ：「可能性への挑戦」

16:00～ 未来宣言

参加費：無料

申込方法等は中央会までお問合せいただくか、
ホームページをご覧ください。



記念講演 15:00～16:00

講師：舞の海 秀平氏(元力士)

関取時代の体格は、身長170cm、体重97kg。現役時代は角界最小の身体ながら、「猫だまし」、「八艘飛び」などファンを驚かせる数々の技をくりだし、「技のデパート」の異名をとる。平成11年11月の引退までに、技能賞を5回受賞。現在はNHK大相撲解説者、テレビ・スポーツキャスターとして幅広く活躍している。平成22年より近畿大学経営学部客員教授に就任。

身長も体格も自分より大きい力士たちとの戦いに明け暮れた日々。「相撲は大きいだけが有利なのではない。小さいから不利なわけでもない。だから面白い。」と振り返る。

式典当日は、まさに大企業に立ち向かう中小企業の経営を地で行くかのような氏の生き方や考え方についてご講演いただきます。

主催



静岡県中小企業団体中央会

〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町44番地の1

TEL：054-254-1511 FAX：054-255-0673 HP：http://www.siz-sba.or.jp/

協賛

静岡県中小企業団体職員協会・静岡県青年中央会・静岡県中小企業組合士会
静岡県機械金属工業協同組合連合会・静岡県中小企業団地協議会・静岡県食品産業協議会



暑さを吹き飛ばす地元「納涼祭」を開催

第二回浮島工業団地「納涼祭」を開催

富士市浮島工業団地協同組合

富士市浮島工業団地協同組合（杉山清理事長）は、八月一日、当団地内において恒例の納涼祭を開催した。

平成三年に始まった当イベントは今年で二二回を数え、今では地域のなくてはならない夏の風物詩となっている。かき氷やフランクフルト、焼き鳥などを販売する組合員ら手作りの模擬店が並ぶなか、訪れた八千人を超える組合員の家族や近隣の住民は、連日続く猛暑を忘れ夏の夜のひと時を楽しんだ。

会場に設けられたステージでは、組合員をはじめ商工中金や中央会の職員も参加したカラオケ大会、折りたたみ自転車など豪華景品が当たる福引抽選会が行われた。また、



地元の小學生らによる「原田清流太鼓」の演奏や盆踊り

で、会場は大いに盛り上がりを見せた。

さらに、お祭りのフィナーレを飾った打ち上げ花火では、頭上間近である大迫力に大きな歓声が湧いた。

団地完成後二〇年を契機に、地元への感謝の意を込めスタートした納涼祭について杉山理事長は、「遠くの親戚より近くの他人。組合員はもとより地元の方たちに支えられて、ここまで来ることができた。今日来てくれた子供たちが大人になって、またこの納涼祭を楽しんでもらえるよう、組合もますます発展、成長し続けたい」と笑顔で語った。



▲暑さを忘れ、多くの来場者でにぎわいを見せた

世界の「GYOZA」(餃子)を食べ比べ!

「GYOZAワールドカップinしずおか」を開催

静岡市フードビジネス協同組合

静岡市内の飲食店七社で構成される静岡市フードビジネス協同組合（藤嶋悦郎理事長・株正悦）は、七月三十一日から八月二日までの三日間、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「GYOZAワールド

カップinしずおか」を開催した。当組合では、小麦粉に水を加え薄く延ばしてつくった皮で、肉や野菜、魚などの具を包み、焼いたり、揚げたり、蒸したりしたものを「GYOZA」と定義。今回が初めてとなるこの催しには、地元

の桜海老餃子や浜松餃子のもとより世界の「GYOZA」を売る二〇のブースが出展した。インドネシアのピーナッツソースをかけて食べる「シオマイ」



や、鶏肉のミンチを包んだネパールの「モモ」、スリランカのサバを材料とした「パティス」など、

▶スリランカの「パティス」

来場者は、日頃なかなか口にできない世界のGYOZAを食べ比べた。

藤嶋理事長は、「メソポタミア発祥のGYOZAは、世界中で愛されている。静岡市は、あまり知られていないが浜松、宇都宮、京都に並ぶ餃子の一大消費都市。GYOZAを大きなビジネスチャンスとして、町の活性化にもつながりたい」と語った。

当イベントの能條光秀実行委員長（とり酢鳥冠）は、「今では、パリやニューヨークにも餃子の店があり、餃子を作る機械も静岡製が活躍している。日本の食文化を世界に広め、静岡にたくさんの方を呼び寄りたい」と期待を込めた。



▲能條実行委員長(左)と藤嶋理事長(右)

「家具団地」として親しまれ五〇年 創業五〇周年記念式典を開催

静岡家具工業団地協同組合

静岡家具工業団地協同組合（一色伸一理事長）は、七月二十八日、静岡市葵区の浮月楼で創業五〇周年記念式典を開催した。

北村正平藤枝市長、（独法）中小企業基盤整備機構、静岡県、商工中金、中央会などの来賓と組合員ら合わせて六〇人余りが出席し、これまでの足跡を振り返るとともに、五〇年の節目を祝った。

一色理事長は、「幾多の苦難を乗り越えられたのも、多くの皆さんのご支援の賜物。地域の皆さんにも『家具団地』として広く親しまれてきた。時代の変化に適応し、

今では元気のある異業種が集まり、創業当時に負けないくらいの活気を保つことができている。次の一〇〇周年に向け、これからの組合の団結力を高め、さらなる発展を目指して

▼挨拶する一色伸一理事長



いきたい」と力強く挨拶した。来賓の北村市長は、「家具団

地は藤枝市の経済を長年にわたり支えている。新東名高速道路などインフラの整備が進む中で、団地の利便性を活かし、今後も地域の活性化にいつそう寄与していただきたい」と今後への期待を述べた。

式典では、商工中金から当組合の日頃の活動に対し感謝状が贈呈されたほか、組合の発展に尽力された前理事長の松永俊一郎氏（株松永家具）に中央会会長表彰が授与された。また、式典に先立ちフリーアナウンサーの牧野光子氏が職場におけるコミュニケーションのコツについて講演した。

当組合は、昭和三七年、家具製造業者二三社により設立され、昭和四〇年、藤枝市八幡に工業団地を造成。組合員企業の人材育成や職場改善など活発に事業を展開している。



▲松永前理事長（左）に諏訪部中央会会長（中）が表彰状を授与

中小企業の人材確保や職場定着を支援 「職場定着セミナー」・「BizCafe」を開催

静岡県中央会ほか

静岡県中央会は、若者・女性（主婦等）・シニア層を中心に、中小企業の人材確保、人材育成、職場への定着などをはかる地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業を実施している。

七月には当事業の一環として、若手社員向け職場定着支援セミナーを県内三地区で開催。概ね入社三年以内の若手職員一〇〇人余りが参加し、就業意識や将来ビジョンの形成のためにグループディスカッションが行われた。

当日は、（株）キャリア・クリエイティブの杉山孝代表らが講師を務め、継続して業務を行う重要性について説くとともに、長期の目標であるキャリアビジョンの策定について指導した。

また、八

▶若手社員を対象とした「職場定着セミナー」



月七日には、SOHOしずおか、静岡市産学交流センターと共催で県内の高校生と大学生を対象とした「BizCafe」を開催した。



▲学生が社会に出る一歩として参加した「BizCafe」

当事業は、学生の就職活動の第一歩として、仲間と一緒にビジネスについて触れることが目的。（株）るるキャリアの内田美紀子代表らの指導のもと、将来なりたい自分の姿を想像し、ビジュアル化する「ドリームマップ」を作成した。

中央会では、今後、管理者向けのセミナーやIT系企業合同説明会などの開催を予定している。詳細は中央会のホームページで確認ください。

→ <http://jinzai.siz-sba.or.jp/>

(平成27年7月の情報連絡員月次景況調査より)

静岡県中央会に設置されている情報連絡員〔協同組合等の役職員60名に委嘱〕による毎月の景況調査の概要です。

業界の声 対象17業種より抜粋

■製造業

- 消費動向が鈍化しているように感じる。また、猛暑によるエネルギー需要増もあり、経費増大が経営を苦しめている。(水産食料品製造業)
- 夏になってもカツオ節業界は相変わらず盛り上がりがない。魚価は高水準で推移しており、製造業者にとって厳しい状況が続いている。(水産食料品製造業)
- 猛暑により冷茶の売れ行きが好調である。(製茶業)
- 夏物の受注が終了したが、昨年と比較して受注量は減少した。(織物業)
- 都会では製品単価が安くなっていることが影響し、売上が伸びていない。業界としても売上がスローダウンしており、先が見通せない現況である。(宗教用具製造業)
- 売上は増加しているものの残業代等の人件費が増加したため、収益状況は改善していない。(木材・木製品製造業)
- 市の工業排水路の清掃工事があり、休転する事業所があった。(パルプ・紙・紙加工品製造業)
- 公共工事、民間工事において着工が遅れている。後半に期待するしかない。(セメント・同製品製造業)
- 引き合い件数はあるものの、中国の景況不安等の影響から商談成立が先延ばし傾向にあり、夏場から秋口の売り上げ低迷が鮮明になってきている。また、原材料価格の上昇から収益面も厳しさを増している。(生産用機械器具)
- 7月度の自動車メーカーの生産は、増税後の買い控えが続いていたが、新車の立ち上がり等の影響から、前年並みまで回復している。(輸送用機械器具)
- 軽自動車の販売状況は、前年同月比で大きく減少しており、この先の見通しも不透明な状況。生産量の減少に伴い売上も減少しており、厳しい状況が続いている。(輸送用機械器具)
- あまり変化は感じられない。(漆器製造業)

■非製造業

- 公共関係・民間建設共に需要が低迷しており、7月としては過去最低の出荷量となった。平成26年下期より減少傾向が続いてお

- り、前年同月を下回るのは9ヶ月連続となるなど、依然として厳しい状況が続いている。(セメント卸売)
- 猛暑の影響から、連日エアコンや冷蔵庫の買い替えがあり、好調である。(機械器具小売)
- 猛暑による漁獲不振の影響から、魚価が高値で安定しており、売価に反映できない状況。(鮮魚小売)
- 月の前半は、天候不良により季節商品の動きが出遅れたが、後半は猛暑が続いたこともあり、家庭用空調の勢いが活性化している。(機械器具小売)
- 年に1度のイベントは大盛況のうちに終わった。(商店街)
- プレミアム商品券のキャンペーンは好調だった。引き続き商品券を持っている顧客への購買を促したい。(商店街)
- 少しずつ客単価が上がってきている。(商店街)
- 厳しい暑さの影響から、商店街を歩く人の姿もまばらである。比較的高齢のお客様を相手にする商店が多いので、天候の影響は大きい。(商店街)
- 6・7月の予約は鈍いが、8月はやや良い。(宿泊業)
- 静岡県東部では、情報サービス業の仕事の単価・作業量は伸びているが、中部では足踏み状態である。(情報サービス)
- 組合員からは、静岡は仕事が少ないという意見が寄せられている。建設市場は、東日本大震災復興工事業や、東京オリンピックの施設工事に移っているようだ。(総合工事)
- 官庁工事は発注件数が少ないこともあり受注企業に片寄りが見られる。民間工事は改築・改修工事が主体となっている。(総合工事)
- 梅雨明けから飲料水・エアコン等の出荷が増加しているが、全体的な荷動きは昨年より鈍い状況にある。軽油価格が値下がりした分、収益状況は好転している。(道路貨物運送)
- 各製紙会社で毎年行われる排水路点検の影響から、休転する事業所があり、輸送が減少した。また、燃料価格の低下が見られる。(道路貨物運送)
- 猛暑の影響はあまりなく、飲料輸送はさほど増加していない。一般荷物の荷動きも少ない状況。(道路貨物運送)

中央会創立60周年記念事業 「共済ご加入者 感謝の集い」を開催しました



静岡県中央会は、8月5日(水)、静岡市駿河区のホテルセンチュリー静岡において、「共済ご加入者 感謝の集い」を開催しました。

この集いは、中央会創立60周年を記念し、日頃、中央会の共済制度の趣旨に賛同し、その活用と普及にご貢献いただいている皆様に感謝の意を表すために開催したもので、11組合、6企業、3専門家に対し感謝状を贈呈しました。

当日は、共済制度の推進に協力いただいている組合の役職員や社会保険労務士、加入事業所、保険会社の代表など100人を超える方々にお集まりいただきました。

諏訪部敏之中央会会長は、「60周年を契機に今後も加入者様のニーズに根差した共済事業のいっそうの推進に努め、中小企業、組合の役職員の皆様が安心して働ける環境の整備に尽力して参ります」と挨拶しました。

中央会では、従業員の皆様への福利厚生と労働環境の拡充をはかるため、従業員の退職金の積み立て共済制度や各種保険制度等を推奨しております。共済制度・保険制度に関するご質問、お問合せにつきましては、中央会 業務部(電話054-254-1511)または静岡県協同振興(株)(電話054-251-1637)までお気軽にお問合せ下さい。



景況ウォッチ

組合活性化情報

内閣府が8月10日に発表した7月の消費動向調査によると、消費者心理を示す消費者態度指数は前月比1.4ポイント低下の40.3と、2ヶ月ぶりに悪化となり、消費に足踏みがみられる結果となった。

連絡員からの7月期の動向をみると、前月との比較で、全9項目中「販売価格」、「収益状況」、「資金繰り」、「業界の景況」の項目で改善傾向となったが、前年同月比では「在庫数量」を除く全ての項目でマイナスとなっている。

各業種からの自由回答を見ると、依然として景況感が良ならず、先行きを不安視する声が挙がっている。食品製造業や小売業からは、猛暑の影響により売上が増加する一方、経費増大に苦慮しているとの報告も寄せられた。

概況

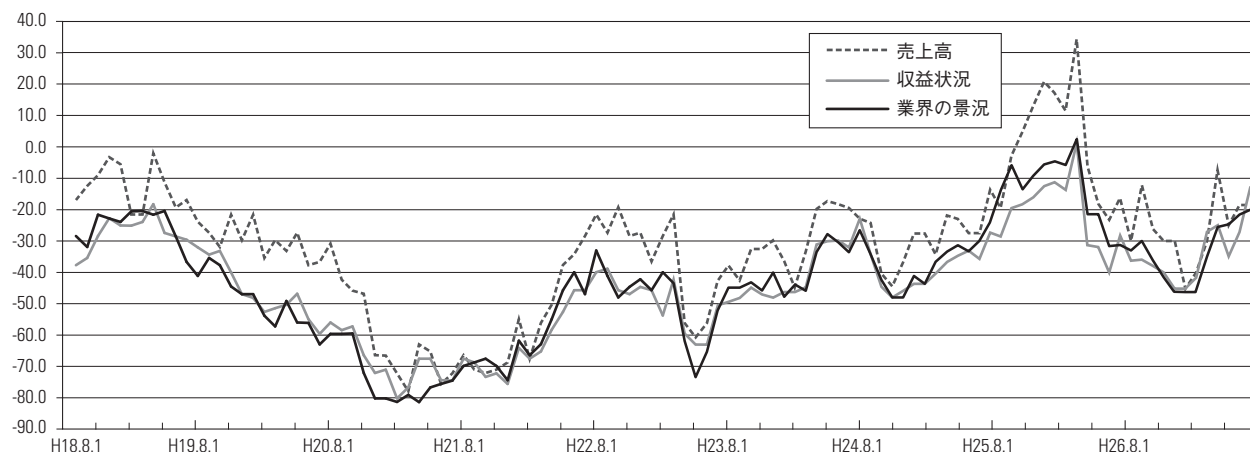
- 平成27年7月のDI値を前月と比較すると、「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の項目が改善傾向となった。
- 「製造業」は、前月との比較で「販売価格」が改善する一方、「業界の景況」等の5項目で悪化の傾向となった。自由回答では、各業種で景気低迷が続いている。また、猛暑により経費が増大している業種もある。
- 「非製造業」は、前月との比較で、「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の項目で改善傾向となっている。一部の業種においては、猛暑の影響による売上増加や来客数の減少といった報告も寄せられた。

DI値の推移 ※DI値 = [(増加・好転組合数 - 減少・悪化組合数) / 対象組合数] × 100

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人数	業界の景況
H27.07	-18.3	-9.3	-3.3	-1.7	-13.3	-5.0	-13.8	-8.3	-20.0
DI値	☀	☀	☁	☁	☀	☁	☀	☁	☀
H27.06	-18.3	0.0	-5.0	0.0	-26.7	-10.0	-10.3	-3.4	-21.7
H27.06→H27.07	0.0→	-9.3↓	1.7↑	-1.7↓	13.4↑	5.0↑	-3.5↓	-4.9↓	1.7↑

+0.1以上…☀ ±0.0~-10.0…☁ -10.1~-20.0…☀ -20.1~…☁ なお「在庫数量」のみマイナス値が大きいほど好転を示している。

主要三指標DI値推移（過去10年間）



静岡労働局からのお知らせ

「働き方改革」に向けた取組に関して要請を行いました

監督課
Tel.054-254-6352

～静岡労働局長が島田市長とともに、 島田商工会議所への共同要請～

平成27年7月31日、野村栄一静岡労働局長が染谷絹代島田市長とともに原田康島田商工会議所会頭と面会し、「働き方改革」に向けた取組に関する要請書を渡しました。

「働き方改革」に関しては、昨年11月に施行された「過労死等防止対策推進法」及び「まち・ひと・しごと創生法」、並びに本年6月に閣議決定された「日本再興戦略 改訂2015」による考え方の流れにも沿うものです。

本年度、「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を発足させて、人口減社会の課題を抱える中での地方創生に向けた取組を行っている島田市が、静岡労働局との共同要請に賛同されました。

また、島田商工会議所においても、島田市地域における仕事の質と量の確保と生活の調和を目指した取組に理解を示されたことによって、静岡労働局長と島田市長による共同要請を受けていただくことが実現しました。

当日は、要請を行った後、静岡労働局長、島田市長、島田商工会議所会頭をはじめ出席者が意見交換を行い、今後も静岡労働局長と島田市長が、島田商工会議所会員企業への「働き方改革」実現に向けた働きかけを行うこと等が確認されました。



野村栄一静岡労働局長(写真左) 染谷絹代島田市長(写真中央) 原田康島田商工会議所会頭(写真右)＝島田商工会議所にて

平成27年度静岡県最低賃金の改正答申について

賃金室
Tel.054-254-6315

～18円アップの時間額783円を答申～



平成27年8月5日、同審議会では居城舜子会長から、野村栄一静岡労働局長に対して、静岡県最低賃金を現行の時間額765円から18円引き上げ「時間額783円」とする旨の答申がありました。

静岡地方最低賃金審議会では、平成27年7月2日に静岡労働局長から「静岡県最低賃金の改正決定について」の諮問を受けました。

これを受け、静岡県最低賃金専門部会を設置し、7月30日に中央最低賃金審議会から示された目安答申を尊重しつつも、諸般の事情を総合的に勘案し、慎重に審議した上で答申を取りまとめました。

今後は、この答申の内容について異議申出の公示など諸手続を経た上で、静岡労働局長が静岡県最低賃金を決定することとなります。

居城舜子会長(写真左) 野村栄一静岡労働局長(写真右)＝静岡労働局にて

プラチナくるみんスタート！

雇用均等室
Tel.054-252-5310

こどもも、仕事も、会社も、地域も、
くるみんと一緒に育てよう



次世代育成支援対策推進法に基づいて、所定の目標を達成し一定の基準を満たした企業は、申請を行うことにより、子育てサポート企業として厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けることができます。

さらに、平成27年4月1日から、くるみん認定企業の中から特に優れた取組を行っている企業を認定する、**特例認定制度(プラチナくるみん)**がスタートしました。

プラチナくるみん認定を受けた企業は、商品、広告をはじめ、求人募集時の求人票などに「プラチナくるみんマーク」を表示することができ、子育てサポート企業であることのPR効果が高まります。

平成27年度 静岡県障害者雇用促進大会来場者募集!

静岡県は、9月の「障害者雇用支援月間」に、「静岡県障害者雇用促進大会」を開催します。

大会では、障害者雇用に関する優良事業所や模範となる優秀勤労者の表彰、記念講演を行います。

■日時 9月17日(木) 13:15～15:45

■会場 静岡商工会議所5階ホール
(静岡市葵区黒金町20-8)

■内容 ①表彰式典 厚生労働大臣表彰伝達、
知事褒賞授与ほか
②記念講演

■その他 どなたでもご来場できます。事前に下記お問い合わせ先までお申込みください。
(先着200名)

記念講演

演題 「障害者を長期に継続雇用してゆくには」

講師 株式会社大協製作所
代表取締役 栗原敏郎 氏

☆公益社団法人全国重度障害者雇用事業所協会会長。労働政策審議会委員、神奈川雇用開発協会障害者雇用問題専門委員会会長等を歴任。障害者雇用歴は55年、障害者雇用率50%以上、平均勤続期間14年以上という、障害のある人ができるだけ長く働くことができる環境づくりに成功。障害のある人が社会的に自立するためには働く意欲をもってもらうことが重要という考えのもと、先輩が後輩を指導し、適材適所の配置をすることで障害のある人が重要な戦力になる職場づくりについてご講演いただきます。

【お問合せ先】

経済産業部就業支援局雇用推進課
TEL: 054-221-2811 FAX: 054-271-1979
HP: <http://www.koyou.pref.shizuoka.jp>

いきいき職場づくり 先進企業視察研修参加者募集中!

誰もがいきいきと働くことができる職場づくりによりワーク・ライフ・バランスを実践されている企業を視察訪問し、企業の取組や制度について学ぶ研修会を開催します。ぜひご参加ください。

■対象 県内企業の経営者の方、
人事・労務担当者の方
(各回20人/1社2人まで)



■費用 無料

株式会社松岡カッター製作所

平成27年10月15日(木) 13:30～16:00

静岡市葵区古庄2丁目18-46

・事業内容 切削工具の製造販売

・現地集合、現地解散

(原則として公共交通機関を御利用ください)

☆「いきいき職場づくり」取組ポイント

・1時間単位で年間5日分の時間有給取得を可能にする時間有給制度を導入。

・妊娠中や産後の復帰支援を先輩、後輩が協力してサポート。仕事を覚えるチャンスに。

・手作りの入社式、社内ボーリング大会や社内旅行等で仲間の和を大切に。

深澤電工株式会社

平成27年10月22日(木) 13:15～16:40

駿東郡長泉町桜堤3丁目6-14

・事業内容 電子部品製造

・原則JR沼津駅発着の貸切バスを利用(無料)

※視察先へ車で集合することも可能です。

☆「いきいき職場づくり」取組ポイント

・5S活動を推進。従業員が社内外の自主的な清掃活動を実施。

・仕事内容の工夫やインフラ整備により、ちょっと体の悪い人(障害のある方)やちょっと歳の多い人(高齢の方)も誰もが平等にいきいきと働くことができる職場づくりを推進。

詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

静岡県わくわく働楽(はたらく)ナビ!

わくわく働楽ナビ

【お問合せ・お申込み先】

静岡県経済産業部就業支援局労働政策課
TEL: 054-221-2817 FAX: 054-271-1979
E-mail: roufuku@pref.shizuoka.lg.jp

平成27年度後期技能検定

申請受付期間

平成27年10月5日(月)
～10月16日(金)

いよいよ
募集開始!



(受付時間) 9:00～17:00 ※土日祝日を除く

— 試験日程等 —

- 試験実施日 平成27年12月2日(水)～平成28年2月14日(日)
のうち指定する日
- 実施職種 空気圧装置組立て、配管、冷凍空気調和機器施工、
機械・プラント製図等(全65職種)
詳細は静岡県職業能力開発協会のホームページをご覧ください。
- 受検手数料 学科試験手数料 全職種 3,100円
実技試験手数料 全職種 17,900円
(3級受検者で大学、専門学校、高校、職業訓練校等の在學生は11,900円)
- 合格発表日 平成28年3月11日(金)

技能検定とは

技能検定とは、工作上必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度です。試験に合格すると合格証書が交付され、「技能士」と名乗ることができます。
職種により特級、1級、単一等級、2級、3級に区分して実施しています。

申し込み方法等

お申し込み、受検案内のご要望等は、下記お問い合わせ先まで。

【お問い合わせ】

〒424-0881 静岡市清水区楠160 静岡県職業能力開発協会

TEL : 054-345-9377 FAX : 054-345-2397

ホームページ <http://shivada.com/> または

静岡県職業能力開発協会

検索

『一般社団法人 静岡県産業連携研究所』 設立

中小企業・組合の調査研究機関として企業経営をトータルサポート！

中小企業を取り巻く経済環境が依然として厳しい状況にある中、静岡県中小企業団体中央会では、中小企業や組合へのコンサルタント機能の強化をさらに図るため、一般社団法人静岡県産業連携研究所を平成26年12月に設立した。

同社団では、県内の中小企業や組合等の活性化と地域経済の健全な発展に寄与することを目的に、調査研究・コンサルタント業務の専門機関としての機能を発揮した様々な事業を展開していく。

■中小企業・組合の経営に関する研究

組合や中小企業が行う各種の調査研究事業（※）を受託し、調査データの収集加工や分析・提言、報告書作成などの事業を実施。

※組合員等の人材育成システムの研究、新市場開拓のためのマーケティング支援等

■中小工場の現場改善

様々な業界の中小工場の現場管理者に対して、専門家を交えながら、安全性の向上や効率化を図るための実地指導を行い、生産現場におけるムリ・ムダを排除する。



中小工場に対する現場改善の様子

■事業継続支援

経営譲渡などのM&A支援をはじめ、中小企業の事業継続を目的とした技術伝承・後継者育成等、課題解決に向けた支援を展開する。

■経営改善全般

中小企業の課題解決に向け、企業経営者・幹部とのヒアリングによる経営方針や月次・年間目標等の検討を行い、経営改善を図る。

■中小企業のIT化支援

組合や企業におけるパソコン活用やホームページの開設をはじめとし、IT化促進に向けた管理者教育などについて、専門家を交えながら継続的に支援する。

■その他の支援

静岡県からの6次産業化促進支援や静岡市からの企業ヒアリング支援に加え、マイナンバー対策やストレスチェックに関するセミナーを開催。

お問合せ、ご相談はお気軽に こちらまで…

一般社団法人 静岡県産業連携研究所

代表理事 佐野 光治

副理事長 諏訪部敏之

連絡先 〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 (静岡県中央会内)

TEL : 054-254-1511



「新しいことにチャレンジ！」

皆さんこんにちは！四月に中央会に入会しました経営支援課の古郡です。これからよろしくお願ひします。

この場をお借りして簡単に自己紹介をさせていただきます。富士市出身で四人姉妹の次女として生まれました。母、祖母と女性だらけの家族の中で、男性は父とインコのぴーちゃんだけ。そんな環境で育ったせいか、とてもサバサバした性格だと他人からよく言われます。色々な事に興味を持ってしまつたためキャンプ、燻製づくり、写仏、レース編み、ゴルフ、山登り等々、広く浅くですが日々楽しんでいきます。

中央会に入り、様々な業種の組合や企業を訪問し、普段の生活では知り得ない新しいモノ、コトを見聞きすることが多くあります。好奇心旺盛な私としては、日々、新鮮であり勉強でもあります。新しいことを始めるのは不安も伴いますが、やってみると意外と楽しいものです。

これから中央会職員として、皆様のお役にたてるよう新しいコト、色々なコトに挑戦し精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



静岡県中小企業団体
中央会
経営支援課
古郡 紗貴子



本会創立60周年を記念した事業が本格的にスタート。11月17日に開催する記念式典まで残すところ2カ月あまりとなった。

私事だが、記念式典の運営実務を担当しており、60年という重厚で長大な歴史を考えると、その責任の重さに押しつぶされそうな思いで一杯である。しかし、この事業を乗り越えられた時には、きっと苦勞以上に得るものが大きいのではないかと前向きに取り組んでいる。是非、皆さんの

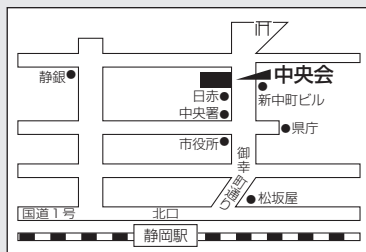
ご支援ご協力をお願い致します。

今回取材で伺った藤枝の「家具団地」は、団地造成後50周年を迎えられた。また、浮島の工業団地は設立後43年が経過し、22回を数える納涼祭は地元の風物詩になっている。

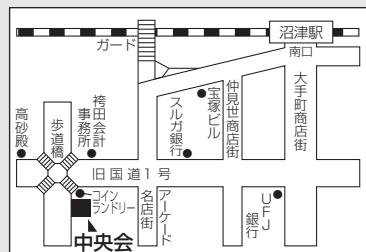
歴史のある多くの組合はまだまだ元気いっぱい。「若いもんには負けてはいられない」。猛暑の中、忙しさを理由にたるんだ自分に対し、叱咤激励をいただいた気がした。(押尾)

中小企業静岡9月号 (通巻742号)

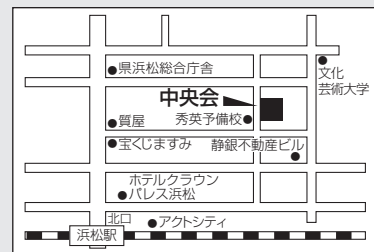
- 発行人 / 静岡県中小企業団体中央会 〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 TEL / 054-254-1511 FAX / 054-255-0673
 東部事務所 〒410-0881 沼津市八幡町7番1号 TEL / 055-963-4511 FAX / 055-963-8307
 西部事務所 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目17-19 TEL / 053-453-2195 FAX / 053-453-2198
- 中央会ホームページ <http://www.siz-sba.or.jp/> ● E-mailアドレス m-osuo@siz-sba.or.jp
 皆様のご意見をお待ちしております。(TEL、FAX等でもお受け致します。)



静岡事務所



東部事務所



西部事務所

スマート国勢調査!

全国一斉インターネット回答をスタートします!



データの向こうにドラマがある

5年に1度の大調査!!

国勢調査が、進化しました!

今回の調査は、パソコン・タブレット・スマートフォンからもご回答いただけます!

いつでもどこでも、便利に回答。

パソコン、タブレット、スマートフォンでの回答を可能に!!

インターネット回答は

9月10日~20日

インターネット回答がなかった

世帯には調査員が調査票をお配りいたします!!

調査票での回答は

10月1日~7日



みらいちゃん



セゾさん

9月10日~9月12日

インターネット
回答用IDを配布

9月10日~9月20日

インターネット
回答

9月26日~9月30日

調査票を
配布

10月1日~10月7日

調査票
提出

回答いただいた情報は厳重に保護されます。国勢調査は「統計法」で厳格な秘密保護が定められています。回答いただいた内容は統計以外の目的に使用することはありません。

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とした、国の最も重要な統計調査です。

調査結果は、福祉施策や防災計画、生活環境の改善をはじめとした日本の未来をつくるために欠かせない様々な施策の計画づくりなどに役立てられます。

マンションなどの集合住宅にお住まいの方、管理者の方におかれましては調査への回答、ご協力をお願いいたします。

国勢調査コールセンター



0570-07-2015 IP電話の場合:03-4330-2015

設置期間:平成27年8月24日から10月31日まで

市内通話料でOK ナビダイヤル。受付時間:午前8時~午後9時(土・日・祝日にもご利用になれます)

※おかけ間違いのないようご注意ください。

※ナビダイヤルの通話料金は、一般の固定電話の場合、全国一律に市内通話料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSの場合、それぞれ所定の通話料金となります。

※IP電話用電話番号の通話料金は、所定の通話料金となります。

国勢調査2015キャンペーンサイトにてスペシャルムービー公開中!!

くわしくは **国勢調査2015**

検索

<http://kokusei2015.stat.go.jp/>



国勢調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください。

調査員は、「国勢調査員証」を身に付けています。不審に思われた場合には、市区町村の国勢調査担当までお問い合わせください。



総務省統計局・都道府県・市区町村からのお知らせです

つもる話は
アフター
ファイブに。

仕事帰りにお電話。
AFTER FIVE.

はずむ話は
デイ
タイムに。

家族と一緒に。
DAYS.



働く人に便利な 2つの「相談会」。

〈ろうきん〉全店OPEN!
水曜よりみち相談会

17:00~19:00

毎週水曜日 夕方 予約優先^{※1}

県内〈ろうきん〉の全営業店で開催中!

TOPICS

ローンのこと、お金のこと。
ご相談内容が充実。

住宅ローンなど、各種ローンのご相談はもちろん、
預金や個人向け国債、投資信託、
個人年金保険のご相談もお取扱いたします。^{※2}
お金のことなら何でも幅広くご相談ください。

日曜のんびり相談会

9:00~12:00 13:00~16:00

毎週日曜日 予約制

県内〈ろうきん〉のローンセンターで開催中!

TOPICS

週末はご家族で。
3ローンセンターでは
土日も相談OK。 予約制

お客様の声にお応えして土日も相談会を開催。

土曜日開催店
◎浜松中央ローンセンター
◎静岡中央ローンセンター
◎富士ローンセンター

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。
※2 個人向け国債、投資信託、個人年金保険のご相談は予約制となります。
※ いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。

〈ろうきん〉が初めての方も大歓迎。ぜひお近くの〈ろうきん〉へ。

お近くの〈ろうきん〉はこちらから!

スマホ版に
アクセス!



いつもあなたの目線で。
静岡ろうきん

お問い合わせ
ご予約は

ビボバde ろうきん 携帯電話からでもOK!

フリーダイヤル 平日 9:00~18:00

0120-609-123

インターネットホームページ
http://shizuoka.rokin.or.jp